

環境福祉学会 第2回総会

2006年10月29日(日) 11:10~12:00
創造学園大学(下滝キャンパス 2階B室)

司 会 鴨下 重彦 副会長

《 会 議 次 第 》

1. 挨拶
小池 大哲 大会会長
(堀越 哲二)
炭谷 茂 アドバイザー
2. 議長の選出(仮議長)
鴨下 重彦 副会長
3. 議 事
 - 第1号議案 2005年度事業報告 藤田 八暉 理事
 - 第2号議案 2005年度決算報告 藤田 八暉 理事
 - 監査報告 平野 寛 監事
 - 第3号議案 2006年度事業計画(案) 児玉 剛則 理事
 - 第4号議案 2006年度予算(案) 児玉 剛則 理事
 - 第5号議案 役員改選 安川 緑 理事
5. 報告事項
 - 1) 企業部会設立について 小池 大哲 副会長
(堀越 哲二)
 - 2) 第3回大会について(名古屋産業大学) 伊藤 達雄 副会長

第1号議案 環境福祉学会 2005年度事業報告

1、事例研究会

第3回 2005年6月18日(土) 於事務局

参加者：45名

テーマ：「環境福祉ビジネスの取り組み」

講演：①株式会社「IRM」代表取締役社長 椎名正隆氏

②NPO法人「環境国際総合機構」代表 花澤義和氏

コメンテーター：炭谷 茂 アドバイザー

司会：小池大哲 副会長

第4回 2005年8月27日(土) 於事務局

参加者：33名

テーマ：「環境による人間回復」

講演：①「自然環境による町おこし」

宮崎県日之影町 町長:工藤 訓氏

②「不登校・ひきこもり児童生徒の環境教育による支援事業」

NPO法人「青少年自立援助センター」理事長:工藤 定次氏

コメンテーター：炭谷 茂 アドバイザー

司会：小池大哲 副会長

2、理事会

第1回 2005年9月24日(土) 於岡山県倉敷市

1、環境福祉学会第1回大会ならびに総会について

2、2004年度決算について

3、2005年度年間事業計画について

4、2005年度予算（案）について

5、その他

3、年次大会

第1回 2005年9月25日(日) 於川崎医療福祉大学

テーマ：「環境福祉の誕生」

参加者：200名（外部参加者を含む）

4、総会

第1回 2005年9月25日(日) 於川崎医療福祉大学

参加者：77名

- 1、議長選出（鴨下重彦氏）
- 2、2004年度決算案審議
- 3、2005年度年間事業計画案審議
- 4、2005年度予算案審議
- 5、その他

5、企画委員会

第1回 2005年5月13日（金） 於環境省事務次官室

- 1、環境福祉学会第1回大会ならびに総会について
- 2、第3回事例研究会について
- 3、2005年度年間事業計画について
- 4、研究誌の発行について
- 5、ホームページ、eメールアドレスの作成について
- 6、会員の獲得について
- 7、その他

第2回 2005年6月18日（土） 於事務局

- 1、当日の学生会員、一般会員等の会費について
- 2、午後のシンポジウムについて
- 3、一般研究発表について
- 4、「大会ポスター」「大会チラシ」作成
- 5、基調講演、一般講演依頼者、シンポジウムパネリストへの交通費

第3回 2005年7月1日(金) 於環境省事務次官室

- 1、環境福祉学会第1回大会ならびに総会について
- 2、第4回事例研究会について
- 3、2005年度年間事業計画について
- 4、会員数報告（会員の獲得）について
- 5、その他

第4回 2005年8月27日(土) 於事務局

- 1、環境福祉学会第1回年次大会（総会）について
- 2、2005年度年間事業計画について
- 3、「社会福祉事業開発研究基金」申し込みについて
- 4、新規会員獲得その他（事務局報告）

第5回 2005年11月25日(金) 於環境省事務次官室

- 1、環境福祉学会 第1回年次大会総括
- 2、環境福祉学会第2回年次大会について
- 3、「第5回事例研究会」内容案について
- 4、「環境福祉学会新春賀詞交歓会」について
- 5、その他事務局からの報告
 - ① 社会福祉法人「社会福祉事業研究開発基金」申請について
 - ② 日本障害者リハビリテーション協会主催の国際セミナー
 - ③ 商標登録について
 - ④ 施設見学会の実施について

6、学会誌等

ニュースレター 第2号 2005年5月発行
ニュースレター 第3号 2006年1月発行

学 会 誌 第1号 2005年9月発行

7、会員在籍数

2005年4月1日～2006年3月31日

正 会 員：282名（内：新規33名 退会4名）

学生会員： 9名（内：新規4名）

法人会員： 53社（内：新規6社）

参考資料

2006年10月20日現在

正 会 員：332名

学生会員： 17名

法人会員： 64社

第2号議案 2005年度 環境福祉学会決算

自2005年4月1日 至 2006年3月31日

収入の部

科 目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	備考
1、H16年度繰越	0	679,860	679,860	
2、会費収入				
正会員費	1,500,000	970,000	△530,000	194名× 5,000円 (未納 84名)
学生会員	120,000	21,000	△99,000	7名× 3,000円 (未納 2名)
法人会員	800,000	800,000	0	40社×20,000円 (未納 13社)
会費	0	263,000	263,000	2004年度未納分
3、銀行利息	0	4	4	
4、研究開発基金	0	1,000,000	1,000,000	社会福祉事業研究開発基金
5、学会誌売上	0	2,390	2,390	
6、その他	0	2,552	2,552	年次大会余剰金
合 計	2,420,000	3,738,806	1,318,806	

支出の部

科 目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	備考
1、事務費				
事務局賃貸費	0	0	0	
交通費	310,000	83,420	226,580	各会議時事務局の移動
通信費	250,000	218,420	31,580	ニューズレター等発送
会議・会合費	80,000	0	80,000	
雑費	50,000	30,985	19,015	消耗品、事務用品など
振込手数料	0	21,475	△21,475	
インターネット費	0	51,450	△51,450	ドメインと1～6月使用料
ニューズレター編集費	150,000	182,175	△32,175	ニューズレター2号(A4版8P)
				ニューズレター3号(A4版8P)
ニューズレター印刷費	180,000	152,250	27,750	ニューズレター2号(6000部)
				ニューズレター3号(3000部)
学会誌編集費	150,000	215,250	△65,250	A4判32P
学会誌印刷費	250,000	231,000	19,000	1500部
事務局運営費	120,000	120,000	0	
2、事業費				
大会費・総会費等	630,000	447,100	182,900	大会費本部補助金¥300,000 (※表1)
				新春交歓会本部補助金¥147,100 (※表2)
予備費	250,000	163,000	87,000	発表者の旅費など¥55,000
				年次大会事務局宿泊等諸費用¥108,000
繰越	0	1,822,281	△1,822,281	
合 計	2,420,000	3,738,806	△1,318,806	

※表1

科 目	収入(円)	支出(円)	差額(円)	備考
①年次大会の収支				
本部補助金	300,000			
年次大会	573,000	870,448		
合 計	873,000	870,448	2,552	

※表2

科 目	収入(円)	支出(円)	差額(円)	備考
②、新春交歓会の収支				
新春交歓会収入	489,000	636,100		参加会員98名
合 計	489,000	636,100	△147,100	

監査報告書

環境福祉学会
会長 江草 安彦 殿

環境福祉学会 会則に基づき、平成 17 年度収支決算書、
ならびに関係書類を監査した結果、適正かつ正確に執行され
ていることを認めます。

平成 18 年 8 月 19 日

環境福祉学会

監事 永井 伸一



監事 平野 寛



承認いたします。

第3号議案 2006年度事業計画（案）

年	月 日	事業内容	場 所
2006 年	4 月 9 日（日）	第 5 回事例研究会 私が伝える環境福祉 「よく生きるためによく遊ぶ」	環境福祉学会事務局
	8 月 5 日（土）	第 1 回企画委員会	環境福祉学会事務局
	8 月 5 日（土）	第 6 回事例研究会 「環境福祉へのアプローチ」	環境福祉学会事務局
	9 月 15 日(金)	Newsletter 4 号の発行	
	9 月 9 日～10 日 （土，日）	ヨコタ東北リサイクル工場・関連 施設視察	主催：ヨコタ東北
	9 月 26 日（火）	企業部会準備会 第 2 回企画委員会	環境福祉学会事務局
	9 月 27 日（水）	国際福祉機器展 H.C.R.2006 内 シンポジウム 「環境福祉ビジネスの展望」	東京ビッグサイト 605～608
	10 月 28 日（土）	理事会	武尊温泉「萱の家」
	10 月 29 日（日）	大会（総会）	創造学園大学
	10 月 29 日（日）	学会誌の発行（No. 2）	
	11 月	Newsletter5 号の発行	
	12 月	第 3 回企画委員会	環境福祉学会事務局
2007 年	1 月	新春交歓会 第 4 回企画委員会	環境福祉学会事務局
	1 月	Newsletter6 号の発行	
	3 月上旬	第 7 回事例研究会 第 5 回企画委員会	環境福祉学会事務局
	3 月下旬	Newsletter 7 号の発行	
Newsletter(年 4 回発行) 事務局便り(随時) 大会のご案内(随時)			

第4号議案 2006年度環境福祉学会予算

自2006年4月1日 至2007年3月31日

収入の部

科 目	予算額	備 考
1、会費収入		
正会員費	2,000,000	400名 × 5,000円
学生会員	120,000	40名 × 3,000円
法人会員	1,300,000	65社 × 20,000円
小計	3,420,000	
2、前年度繰越	1,822,281	(前年度補助金:社会福祉事業研究開発基金100万円含む)
合 計	5,242,281	

支出の部

科 目	予算額	備 考
1、管理費		
事務所賃貸費	0	創造学園大より無償貸与(東京本部使用)
人件費	0	創造学園大東京本部職員で運営
消耗品費	100,000	
事務所維持費	120,000	@10,000×12ヶ月
小計	220,000	
2、交通費		
	200,000	①理事会1回/年 @200,000
	320,000	②企画委員会@80,000×4回
	100,000	事務局
小計	620,000	
3、通信運搬費		
	172,800	①ニュースレター等発送@ 90×480人×4回
	96,000	②学会誌発送@200×480人×1回
	250,000	③その他、入会、大会案内、資料等発送費
小計	518,800	
4、会議費		
	160,000	委員会開催費 @20,000×8回
小計	160,000	
5、印刷製本費		
ニュースレター編集費	360,000	編集制作費@90,000×4回 (A4、8頁～12頁)
ニュースレター印刷費	400,000	@100,000×4回 (5,000部)
学会誌編集費	220,000	編集制作費@220,000×1回 (A4判、80頁程度)
学会誌印刷費	280,000	@280,000×1回 (1,500部)
小計	1,260,000	
6、事業費		
通常総会開催費	300,000	大会実行委員会補助
シンポジウム開催費	300,000	会場費、講師謝礼等
小計	600,000	
7、研究費支出	1,000,000	
小計	1,000,000	
8、予備費	863,481	
小計	863,481	
合 計	5,242,281	

第5号議案 役員選出

会 長	江草 安彦	社会福祉法人旭川荘理事長 川崎医療福祉大学名誉学長
副 会 長	伊藤 達雄	社団法人環境創造研究センター理事長 名古屋産業大学名誉学長
	鴨下 重彦	東京大学名誉教授 国立国際医療センター名誉総長
	小池 大哲	創造学園大学学長
	(堀越 哲二)	
	炭谷 茂	環境省顧問/前環境事務次官
理 事	松寿 庶	社会福祉法人全国社会福祉協議会常務理事
	波田 幸夫	環境新聞社社長／社団法人日本専門新聞協会理事長
	長田 逸平	前日本経済団体連合会上席参事
	藤田 八暉	久留米大学教授
	土井 康晴	社団法人生活福祉研究機構専務理事
	泉谷 直木	アサヒビール株式会社常務取締役
	安川 緑	金沢大学大学院医学系研究科助教授
	児玉 剛則	社団法人環境創造研究センター専務理事
	寺田 清美	東京成徳短期大学助教授
監 事	永井 伸一	獨協中学・高等学校校長／獨協医科大学名誉教授
	平野 寛	杏林大学名誉教授
事 務 局	小内 栄	創造学園大学事務長
	吉沢 和人	創造学園大学事務次長
	小峰 且也	環境新聞社取締役企画事業部長
	酒井 剛	環境新聞社企画事業本部課長
	王 豊	創造学園大学東京事務所長
	金谷 重男	創造学園大学

環境福祉企業部会設立趣意書

環境福祉学会では、2006年9月26日（火）環境福祉学会事務局（創造学園大学東京本部）において、かねてより会員から要望のありました、環境福祉学会の企業部会の設立準備会を開催しました、以下のことが決定いたしました。

1. 環境福祉学会の設立趣旨

環境福祉学会は、環境と福祉の融合を目指し様々な活動を展開しておりますが、この度、環境福祉事業に関心のある企業の情報交換、ビジネスの構築・啓蒙普及活動の場として企業部会を立ち上げることといたしました。環境福祉事業は、高齢者や障害者、ニートなどの社会的弱者が環境産業に従事することで、人生の基本的要素である仕事を与え生活の支えにするだけでなく、人間としての尊厳を高め、精神を高揚させることができます。また、環境福祉のまちづくりやエコユニバーサルデザインによる商品化、社会的支援などの取り組みもあります。

これらのテーマについて意見交換を行い、環境福祉のビジネスを構築し、啓蒙普及活動をして、環境福祉国家作りの一助となるべく、設立するものです。

2. 活動内容

- ① 環境福祉商品・サービスの開発
- ② 環境福祉事業の普及
- ③ ユニバーサル・エコデザインの開発
- ④ 上記を推進する方策（マーク、環境福祉コーディネーターの養成等）
- ⑤ その他

3. 環境福祉企業部会組織

- ① 部会長 炭谷茂
副部会長 伊澤和馬 波田幸夫 花澤義和 金谷重男 他
参 与 田子公道
事務局 創造学園大学
- ② 各ブロックごとに支部長を置き、組織の拡大を図る

設立準備会参加企業

- 1 (株) ヨコタ東北
- 2 (株) 明輪
- 3 (株) リバックス建築環境計画
- 4 日鉱金属 (株)
- 5 (株) 信州セラミックス
- 6 戸倉工業 (株)
- 7 飛島建設 (株)
- 8 (株) テクノフロンティア
- 9 (有) ホクエイ環境
- 10 (株) 釣谷設備事務所
- 11 (有) ビルドシステム
- 12 ホテル浦島
- 13 (株) 東海研創
- 14 (株) アリカコーポレーション
- 15 日本開発 (株)
- 16 松下電器産業 (株)
- 17 (株) 福田農場ワイナリー
- 18 エンジェルワールド (株)
- 19 (株) 澤本商事
- 20 (有) 近藤金庫
- 21 (株) サンパック
- 22 桂設計事務所
- 23 (株) 富士設備
- 24 (株) 環境システムズ
- 25 神流川遊耕園
- 26 社会福祉法人青嵐会せいらん学園
- 27 新建新聞社
- 28 (株) 高貝澤
- 29 北辰住宅技研
- 30 信州グリナリー
- 31 (株) ハタノ
- 32 アナテック
- 33 三協興産 (株)
- 34 環境新聞社
- 35 アクアサービス (株)
- 36 ユーシン建設

第 3 回環境福祉学会 年次大会

日 程 2007 年 11 月 10 日（土）～11 月 11 日（日）

会 場 名古屋都市センター 大研修室・会議室
名古屋市中区金山町 1-1-1 金山南ビル

大会テーマ 「環境福祉の理論と実践」
ー環境福祉のまちづくりー

大 会 長 伊藤達雄（環境福祉学会副会長・名古屋産業大学名誉学長・特任教授）

スケジュール案

日 時	内 容	会場等	備 考
第 1 日 11:30～12:30	役員会	第 3 会議室(14F)	ロの字型 30 名
13:30～16:30	基調講演（一般公開） 講師 未定 パネルディスカッション パネリスト発表・討論会	大研修室(11F)	定員 120 名
16:45～17:15 17:30～19:30	第 3 回総会 懇親会 解散	第 3 会議室(14F) 交流サロン(11F)	スクール形式 30 名
第 2 日 9:30～12:00	一般研究発表会 研究発表	第 2・第 3 会議室 (14F)	各スクール形式 30 名 (一体利用可能)
13:00～17:00	エクスカーショ ン 終了後解散	名古屋港ワイルド フラワーガーデン ”ブルーボネット”	バス

環境福祉学会本部事務局： 創造学園大学東京本部内 TEL03-3447-3681（東京都）
第 3 回年次大会事務局： (社)環境創造研究センター内 TEL052-627-0300（名古屋市）

資 料

(組 織)

第10条

本会は、会長、副会長、理事、監事、顧問の役員を置く。

二、役員任期途中において、役員に欠員が生じた場合、予め決めた者が、残余期間その任につくものとする。

第11条

理事は、総会において選出し、理事会を構成して役員を互選する。

第12条

必要事項は、理事会において決議する。

二、理事会は、会長の招集により適宜開催する。

第13条

役員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。